

人生の仕舞い方



胡頼武

いよいよ新しい時代が始まります。街中に希望と期待があふれているかと思えます。私も心機一転、この良い機会に新たな終活の形を世に出していこうと思っ
ています。秋以降、じっくりと書いていきますので、楽しみにしてください。今回の相談は、60代男性から生活する上で重要なお金のことです。

「65歳から80歳まで生きるとして、生活費としてはどれぐら

老後の生活費は？

い必要なのでしょうか？」。よく言われるのが夫婦で最低必要な額は月22万円、豊かな老後生活には35万円というのが、日本社会での一般論として有名です。

実際、厚生年金だった夫婦の

年金支給額平均は約19万円なので少し足りないということでしょうか。ただ、あくまでも一般論と平均です。

重要なことは「自分はどうか」を決めないと、いくら必要か算出できないのです。

人生プランで変わる

例えば、65歳から3年かけて世界一周すると決めている人は、もっとお金がかかる訳です。その点からどのように生きたいかを考えてください。

その収入源ですが、公的年金だけでなく不動産など権利収入、あとは自助努力もあります。

自助努力というと投資などが頭に浮かびがちですが、一番には「健康でいること」だと思えます。元気なら働くこともできま
すし医療費もかかりません。

私はいつもこのような話をしているので決心したことがあります。長年の子宮の病気を治そうと。

きつと、この記事が掲載されている頃は入院中です。人生100年時代、長生きをリスクではなく、楽しみにして生きていくために努力していこうと思っ
ています。

(終活カウンセラー協会代表理事)

(次回は5月21日付)

